



東風連町内会 武田会長

当町内会では、今まで光回線の整備を強く要望してきましたが、今回の整備は利用契約数に達した地区から整備されるのでしょうか？また、風連別川は幾度となく氾濫している危険性が非常に高い川です。高規格道路が整備されはじめ、道路排水によって増水していくことも予想されるので、川にある雑木の処分を早急をお願いしたい。

まずは、今お願いしております回線利用の契約を希望する対象戸数の調査を行っていたが、その資料を基に業者と回線整備の協議をしていきます。整備の順序に関しては、その協議以降となりますので、ご理解いただきたいと思います。



渡辺総務部長

この事業と同時に「GIGAスクール構想」という事業があり、国の支援のもと動いていて、情報端末機での授業や各家庭で遠隔授業を受けられるなどの整備も進めています。もしかすると学校がある地域に整備が優先されるかもしれません。



加藤市長

風連別川については、既に何度も要望をいただき、また、過去には町内会の皆さまで河川管理者である北海道へ出向いて要望されたことも承知しています。今後も北海道への要望など、市としてできる対応をとっていきます。



木村建設水道部長



東風連町内会 武田会長

光回線の利用に関して、若い方々は整備されるとすぐ利用するという状況ですが、高齢者の方々はそうではありません。地区全員で利用契約の協力をすることが前提であるなら、非常に厳しい状況です。おそらく全地区がそうだと思います。

時代の流れとして、介護分野での情報化が顕著です。情報端末機を用いて、生活状況や病歴、診療状況、薬の処方など確認して包括的にケアを行うという仕組みが構築されようとしています。防災の面からも、今より正確で素早い伝達や集約が可能になったり、時代が進めばさらに進んだこともできるでしょう。この機を逃すと回線を整備することは非常に困難です。ぜひ、前向きにご検討をいただきたいと思います。



橋本副市長



大町区町内会 荻原会長

数年前町内会に3台のラジオが配布されましたが、その利用状況についてどのように検証していますか。利用されていない町内会もあると思うので、一度全部を回収し、必要な場所に必要台数を配布するなど行ったほうがよろしいのではないのでしょうか。

北海道胆振東部地震のときに起こった大停電(ブラックアウト)は、ラジオによる情報伝達が非常に有効でした。どのような災害にこういったものが有効であるかの検討を行うことと同時に、配布している防災ラジオのあり方についても検討していきます。



橋本副市長

3台の配布としていたのは、防災の役割の原点として「自助・共助・公助」という考えがあり、同時多発的に災害が起これば公助だけでは限界があります。自助または共助があつてこそ市民の皆さまが安心安全でいられますので、その共助を担う町内会の中でも防災意識を高めていただきたいと思いますという思いもあり、3台配布としていたところです。



加藤市長

その他にも各町内会長から貴重なご提言をいただいております。取りまとめてホームページなどで周知していきます。

7月2日(木)に市内ホテルにて、町内会長と行政との懇談会が行われ、各町内会長より貴重なご意見・ご提言をいただきました。その質疑内容および回答の一部をつぎのとおりお知らせします。



◆問い合わせ  
企画課企画調整係(名寄庁舎3階)  
☎01654③2111(内線3311)



中名寄町内会 水間会長

現在、市総務部で、光回線の整備に向けて回線利用の意向調査を行っている件についてですが、これは利用する戸数が少ないと該当地区の整備がされないのですか？仮に、我々の地区全員が利用するとしても、他の地区がそうでなかった場合、名寄全域として整備されないのでしょうか？来年、哺育・育成センターというとても大きな施設も完成します。管理運営上、光回線は必要不可欠なので整備していただきたい。

光回線の整備にあたり最低限の利用契約数を確保できなければ、市全体の整備は不可能ということです。しかし以前より、各町内会から多くの整備要望をいただいております。整備に必要な戸数の確保は可能と判断しています。市としては、各町内会へ出向き、より多くの方に加入していただけるよう説明をしていきたいと考えております。



渡辺総務部長

国は、新型コロナウイルス感染症対策として、通信環境整備に大きな補助を行っています。この事業を行うと、回線敷設にかかる費用をかなり圧縮できるのですが、一定の利用者がいなければできませんので、皆さまのお力添えをいただきたいと思います。



加藤市長



栄町区町内会 竹中会長

名寄高校前駅について、なぜ東風連駅から移設することになったのかと利用者の現況を教えてください。また整備にあたって、待合所などはどのように整備される予定でしょうか？最後に、吹雪などで運行が遅延したり運休したりする場合がありますが、行政はどのように関わっているのか教えてください。

東風連駅を利用している方は、ほぼ名寄高校生です。駅舎が移動することにより、生徒の利便性が向上します。高校側とも情報共有しながら進めています。駅整備に関して、待合所はカーポートのようなつくりで整備する予定としており、運行遅延の問題も含め、今後とも学校やJRと協議を重ね対応していきます。



石橋総合政策部長

移設の理由は利便性向上による学校自体の魅力向上です。道内では「～高校駅」という駅名が一つもありません。高校魅力化に市としても取り組んでいきます。またJR宗谷本線が、今後も存続していくためには地域も支援しなければいけません。乗客数増加のための施策を市が行って存続を図ります。令和4年3月の開駅を目指しています。



加藤市長